

令和6年度 福祉教育推進セミナー

コミュニティ・スクールと 地域学校協働活動の 一体的推進に向けて

水戸市教育委員会 生涯学習課
社会教育主事 石井 浩 司



- 茨城県の県庁所在地
- 中核市（2020年4月1日）
- 特 色
 - ・ 日本三名園「偕楽園」や「弘道館」など歴史文化遺産が数多く残る。
 - ・ 2015年4月：日本遺産に登録
『近世日本の教育遺産群
一学ぶ心・礼節の本源一』
[水戸市、足利市、備前市、日田市]



水戸の教育

〔教育目標〕

知性にとみ、心身ともに健全な風格をそなえた人間（水戸人）の形成につとめる

〔基本理念〕

水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成

水戸市立学校

- ・ 小学校：32校
- ・ 中学校：15校
- ・ 義務教育学校：1校 **計48校**

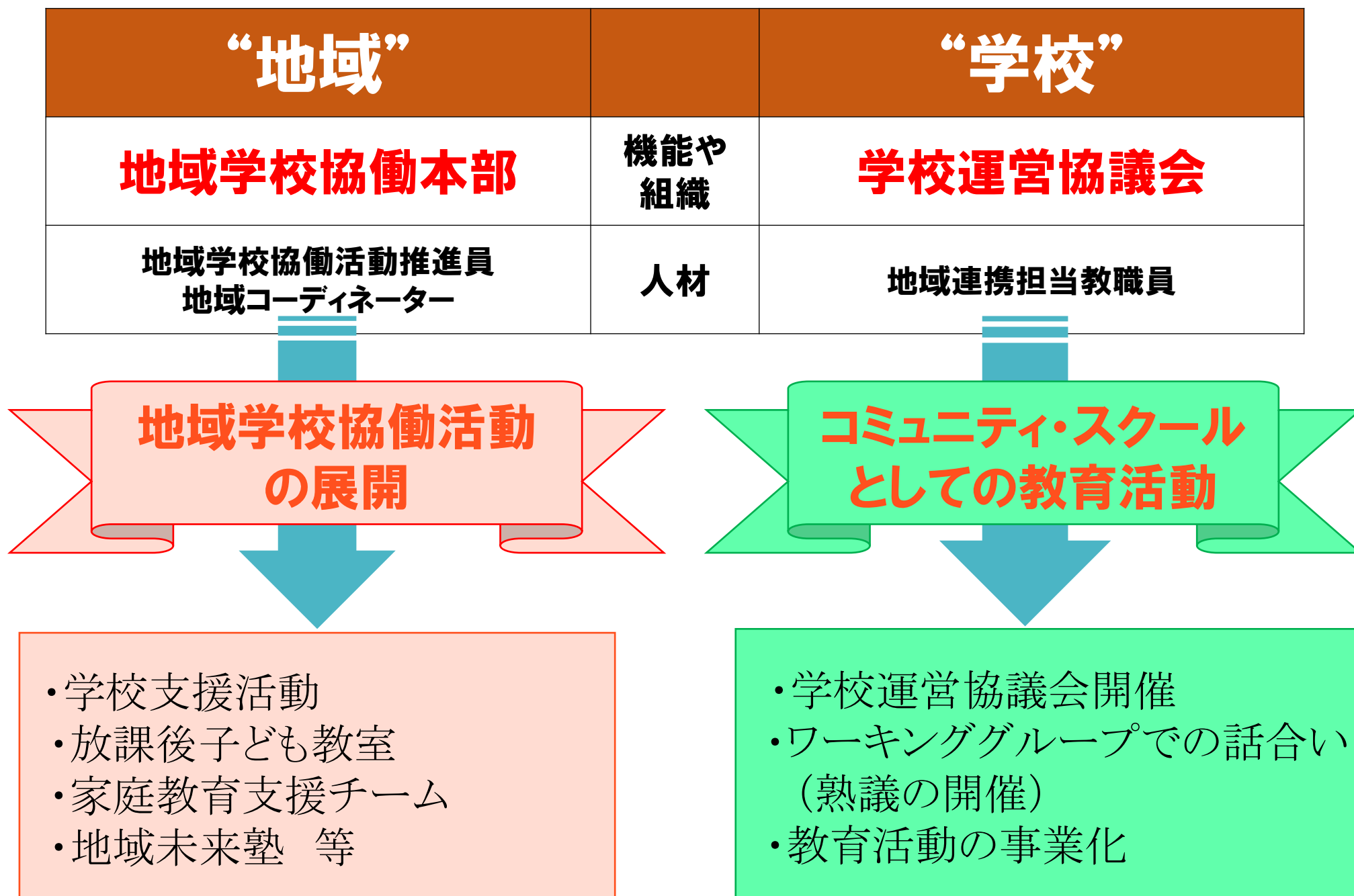
水戸市の学校運営協議会

【令和元年度から水戸市は全小・中・義務教育学校で導入】

- 1校に一つの学校運営協議会を設置 ⇒ 38校
- 中学校区で一つの学校運営協議会を設置（1小1中学区）⇒ 10校（5）

水戸市内に43校の学校運営協議会を設置





地 域

学校を核とした 地域づくり

- ・地域の発展を担う人材育成を学校と**担いあえる**地域へ
 - ➡地域の活性化
 - ➡人口減少時代の人づくり・ものづくり
 - ➡次世代育成のきっかけに

地域住民をつなぐ

- ・活躍の場の創出
- ・まちの活力を生み出す

学 校

地域とともにある 学校づくり

- ・地域に必要とされる学校へ（**信頼向上・学校改善**）
 - ➡地域に開かれた学校
 - ➡教育内容の充実・改善（主体的に学べる授業づくり）
 - ➡教員の働き方改革

子どもと向き合う時間の確保

地域の特色や人材を授業
に生かす取組

イメージ図

コミュニティ・スクールの推進

《水戸市版コミュニティ・スクール》

常磐小コミュニティ・スクール (H17～)

浜田小コミュニティ・スクール (H19～)

全小中学校で
コミュニティ・スクール
スタート (R元～)

《水戸市版地域学校協働活動》

双葉台地区 (R4～)

順次拡大
(R6～)

地域とともにある学校づくり

一体的推進へ

学校を核とした地域づくり

地域とともにある特色ある学校づくり

地域学校協働活動の推進

水戸市版地域学校協働活動の仕組み



水戸市の特徴：1小学校区に1市民センター

連携・協働

学校



(校内担当者)

学校運営協議会で協議された
課題や提案等を、市民セン
ターに伝達。

支援ニーズ

学校支援活動

地域の参画を得て学校を
支援。

市民センター

【コーディネーターの役割】
学校運営協議会で協議
された課題や提案等を
地域と共有し、支援体
制を構築。



(所長)

参画

依頼

地域

自治会、女性会
高齢者クラブ、
PTA、
社会教育団体、
文化団体、
スポーツ団体、
福祉団体、
企業・NPO
子ども会 等



(地域住民)

水戸市版地域学校協働活動の仕組み構築の経緯

・小中せいのつくり運動 + 育成会 = 地味清掃

・地域の市で自動的に清掃ボランティア。中学生の力大きい。

・地域の清掃に子ども参加を!!

(双葉台地区は
高齢化の問題)

佛山地区 3 世代 + 清除活动

(開江) ニさげろ!!

○ 反. 子と父の割合が等しくなる。→ 2:2

その力を生かすことではない
1 → 子育ての姿が少す(少子化)

3つとも777 ができて、動きが
おさまっている

学校の返信呼びかけ!!

子にも導を見て、地域の方々が
知く (子にも見本を見せる)

ことで、高齢者も
動かせるのは

→ 子にも
伝承して
(いふことも大切) = 子とも高齢者。

どう交流するの

せいを地域の交流
活動に!

学校 + 育成会 在民。

学习环境安全部

1 支援ボランティアについて

④ PTA中心にボランティア活動を実施

中 募集の窓口がほしい！

安全 保護者+地域(安全・安心の会等)

④ 地域部活動の取組 → 土日は5つの部活動
で練習、アコギが指導

野球部 外 部
と、経済、
地球の心 } 90年代
が入っている

④「学」教えて叱咤の先生」とう事業 (今はやらないが...)

① 欧米のものを G.T. として活用したい!!

② 野球部 一箱にキックする

「お父さん(経験者でOK) 指導は十分」

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

本市の市民センター所長について

「どのような人になっているのか」

→ 社会教育に関わってきた行政職員
又はOBである再任用職員

「地域コーディネーターになっている『よさ』」

①各地域に応じた講座や研修会を企画・立案ができる。



経験が豊富

②学校や地域住民・団体などの関係者同士との連絡調整
や地域ボランティアの募集・確保をしている。



地域・学校・行政を結ぶことが
容易にできる

③学校の行事や地域の自治会や社会福祉協議会などの
様々な会合にセンター所長として参加している。



学校の様子がわかる
人間関係も把握しやすい



学校と地域を結ぶ役割を行政職員がしていることから・・・
地域住民に『安心感』をもてただける。

(双葉台小・中学校)

参考

【概要】学校における働き方改革に関する取組の徹底について(通知) (mext.go.jp)

学校運営協議会の議論

【学校と地域で共有する目標やビジョン】

『当たり前のことを当たり前にする、
心身ともに健全な「ふたばっ子」の育成』

「子どもたちには、楽しく学習してほしい」

○第3学年：音楽科「ちいきにつたわる 音楽でつながろう」

取組の成果

◎ 学びが深まり、より積極的に授業に取り組むようになった

◎ 楽しく音楽活動をしている地域人材の活用

・地域人材の発掘における教頭の負担軽減

・教材研究や授業をともに行うことによる担任の負担軽減



和太鼓教室の様子



(浜田小学校)

学校運営協議会の議論

【学校と地域で共有する目標やビジョン】
子どもたちの『ふるさとづくり』



「子どもたちには、地域の歴史等をしっかりと知ってほしい」

- 第2学年：生活科「まちたんけん」
- 第4学年：社会科「飲み水を求めて（笠原水道）」
- 第5学年：総合的な学習の時間「備前堀」

取組の成果

◎ 専門家に直接話を聞くことで、より理解が深まった

◎ 地域の歴史に精通している地域人材の活用

- ・教員の教材研究の時間や授業での負担の軽減
- ・地域学習が苦手な教員や若手教員にとっての資質向上

授業の様子



(堀原小学校)

学校運営協議会の議論

【学校と地域で共有する目標やビジョン】
地域とつながり，地域とともに児童を育てる

「子どもたちには，地域に生きる上での社会性を学んでほしい」

- 第1学年：生活科「こうえんたんけん」
- 第3学年：社会科「スーパーマーケット見学」
- 全学年：休み時間等の見守り

取組の成果

◎地域住民と触れ合うことで顔見知りの関係になり，登下校時の防犯につながっている

◎見守りしていただける地域人材の活用（学校側）

- ・最小限の教員で引率また巡視ができるので負担が軽減
- ・『ゆとり』が生まれ，児童一人一人と向き合う時間が確保できる



活動の様子



社会総がかりでの教育を考える・・・

学校を支援
する地域

『支援』とは、一方的な手助けにすぎない！



＜＜地域は学校と協働するパートナー＞＞

協働とは・・・

一方的な依存関係ではないので「一緒にやりましょう」を合言葉
三輪パートナーになることが重要

【Give and Takeの関係】 ➡ 【Win-Winの関係】

地域住民を
つなぐ

子どもと向き合う
時間の確保

地域における
教育力の低下

【地域と学校の連携・協働】
課題解決と新たに学びの未来を
創出することが重要！

学校を取り巻く問題の
複雑化・困難化

今後の水戸市版地域学校協働活動の仕組み案



**水戸市の特徴：1小学校区に1 市民センター
1 小学校区に1 社協支部**

連携・協働

**学
校**



(校内担当者)

学校運営協議会
で協議された課題
や提案等を、市民
センターに伝達。

支援ニーズ

学校支援活動

地域の参画を得て
学校を支援。

市民センター

【コーディネーターの役割】
学校運営協議会で協議
された課題や提案等を
地域と共有し、支援体
制を構築。



(所 長)

社会福祉協議会

【コーディネーターの役割（つなぎ役）】
多様な福祉教育プログラムの企画
プラットフォームの提供



参画

依 頼

**地
域**

自治会、女性会
高齢者クラブ、
PTA、
社会教育団体、
文化団体、
スポーツ団体、
福祉団体、
企業・NPO
子ども会 等



(地域住民)



ご清聴ありがとうございました。

